

<p>【イベント名】 第10回 ラテンアメリカテレカンファレンス</p>	<p>【概要】 ラテンアメリカテレカンファレンスは日本時間の木曜朝、アメリカ時間で水曜夜に開催された。この大きな時差にも関わらず、多くの施設が接続に対応し、とても素晴らしいテレカンファレンスとなった。今回非常に興味深く、また難しい内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）の症例について議論した。最も意義深い意見は、日々の質の高い内視鏡検査と西洋医学の限界を克服することの重要性に関するものであった。</p>
<p>【期日】 2016.11.10</p>	
<p>【会場】 コスタリカ ガストロクリニック（コスタリカ）、コスタ・リカ大学（コスタリカ）、ボゴタ・ザビエル大学（コロンビア）、カリ・ザビエル大学（コロンビア）、メキシコ国立自治大学（メキシコ）、サンパウロ大学（ブラジル）、ブラジル癌研究所（ブラジル）、ブラジリアパーゼ病院（ブラジル）、アレマナ病院（チリ）、チリ大学（チリ）、チリ・カトリック大学（チリ）、大阪府立成人病センター（日本）、九州大学病院（日本）</p>	
	
<p>コスタリカ ガストロクリニックの様子。</p>	<p>コスタ・リカ大学の様子。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：コスタ・リカ大学</p>
	
<p>提示された内視鏡動画。</p>	<p>サンパウロ大学の様子。</p>
<p>撮影場所：コスタ・リカ大学</p>	<p>撮影場所：サンパウロ大学</p>
	
<p>カリ・ザビエル大学の様子。</p>	<p>テレカンファレンスはカジュアルな雰囲気で行われた。</p>
<p>撮影場所：カリ・ザビエル大学</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>